

行政改革推進委員会評価における反映結果一覧表

評価対象事業名	行政改革推進委員会評価		今後の方針
	方向性	結 論	
地域おこし推進事業経費	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大基調(コスト拡大、成果拡充) <input type="checkbox"/> 生産性向上(コスト維持、成果拡大) <input type="checkbox"/> 効率性向上(コスト縮小、成果維持) <input type="checkbox"/> 協働化(コスト縮小、成果拡大) <input type="checkbox"/> 現状維持(コスト維持、成果維持) <input type="checkbox"/> 縮小(コスト縮小、成果縮小) <input type="checkbox"/> 休・廃止(コスト皆減、成果休廃止)	<p>地域の活性化・定住化のため、地域おこし協力隊の募集目的の明確化、募集地域の情報等を掲載するなど要項を充実して夫婦などの募集等、先駆地を参考にして事業を拡充し、更に隊員を増員するべきである。</p> <p>また、効率化のため実施主体を地域づくり、活性化を目的としたNPO法人に移行することの検討を行なっていただきたい。</p>	<p>NPO法人との連携を図り、受入れ側と応募側双方のニーズを的確にとらえ、事業拡大を図る。</p> <p>また、任期満了後の定住化に向けた任期中の支援制度を構築する。</p>
住宅リフォーム事業経費	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大基調(コスト拡大、成果拡充) <input type="checkbox"/> 生産性向上(コスト維持、成果拡大) <input type="checkbox"/> 効率性向上(コスト縮小、成果維持) <input type="checkbox"/> 協働化(コスト縮小、成果拡大) <input type="checkbox"/> 現状維持(コスト維持、成果維持) <input type="checkbox"/> 縮小(コスト縮小、成果縮小) <input type="checkbox"/> 休・廃止(コスト皆減、成果休廃止)	<p>リフォームに関わる事業者を通じた地域経済の活性化には有効な手段である。更に活性化を図る必要があるのでPRをきめ細かく行ない今年度の申請数を勘案し、申請者が全て補助を受けられる程度に予算を投入する必要がある。</p> <p>また、更なる活性化のための手段として補助上限額を今以上に高く設定すること、新築も対象とすることを検討することとともに市民の生活環境の向上を図る観点から空き家の撤去も対象とすることも検討していただきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 申請者が全て補助金を受けられる程度の予算投入について H28年度は、H27年度の申請件数に見合う予算要求額にしました。H29年度以後は、H28年度の実績により検討いたします。 補助上限額を今以上に高く設定することについて 現在の上限額20万円でも、リフォームを誘導しており、この補助金の趣旨である市民の生活環境の向上及び経済対策に効果を発揮していますので、上限額は据え置きたいと考えます。 新築も対象とすること リフォーム事業とは規模が異なり、政策的にも定住対策等他の要素もあることから、別途検討すべきと考えます。 空き家の撤去も対象とすること 空き家の撤去は、リフォーム事業とは趣旨が異なることから、別途検討すべきと考えます。